

各府省において検討頂きたい取組案

6 . I P 電話の導入等通信費の削減

(1) 各種料金割引制度の活用

各府省配備・支給の携帯電話について、通話状況や定額通話を含めた料金体系等を総合的に勘案し、携帯電話会社及び料金プランを見直すことにより、携帯電話通信費の最小化を図る。

(2) インスタントメッセージ等各種ソフトの導入

PCに専用ソフトを導入することにより、各々のPC上で、グループメンバー同士の在席確認などリアルタイムコミュニケーション(インスタントメッセージ)が可能となり、外線でしかつながっていない相手方に対して不在の時の電話を減らすことで通信費の削減を図る。

ソフトの例 スカイプ : <http://www.skype.com/intl/ja/>
Ycoto : <http://www.gript.co.jp/service/>

(3) I P 電話導入に資する取組み

I P 電話の導入を促進するため、電話交換機に VoIP ゲートウェイ (音声と IP パケットを変換するための装置) を取り付けることにより、これまで使用していた電話交換機及び電話機のままで容易に I P 電話を利用することを可能とする。

この他、例えば、2011年の地上デジタル放送移行への対応も兼ねて、光ファイバー等を敷設することで光電話 (光ファイバー回線の I P 電話) の導入を可能とする。

(4) モバイルIPセントレックス (FMC (Fixed Mobile Convergence) サービスの一部) の導入

モバイルI Pセントレックスを導入することにより、

各人が1台の携帯端末 (1つの電話番号) を持ち、省内では内線電話、省外では携帯電話として使用することで、用務の電話を、いつでも、どこでも直接本人が受けることが可能となり、業務の効率化等に資する。

新規項目

(1) 行政効率化のための体制整備

行政効率化を推進するための委員会を設置するなど、推進体制の整備に努める。

(2) より廉価な業務用パソコンの導入

業務用パソコンの新規購入の際には、保守管理コスト面も考慮し、省スペースデスクトップ型のパソコンの購入を検討するなど、可能な限りコストの安いパソコンを購入するように努める。

(3) カラー印刷の抑制

カラー印刷については、業務の性質に応じ、真に必要な資料に限るなどして使用の抑制に努める。

(4) シュレッダーゴミ等のリサイクル化の推進

シュレッダーゴミや不要となった備品等について、リサイクル業者の活用を推進する。

(5) タクシー利用コストの削減

使用ルールの徹底等によるタクシー利用の抑制及び廉価なタクシー会社（深夜2割引のタクシー会社など）の選択等により、タクシー利用コストの削減に努める。

(6) 国会図書館等の利用による書籍費の節約

国会図書館、省内図書館の有効活用により、各府省の部局単位で購入する書籍を減らし、書籍費の節約を図る。

(7) 業務に関する情報の共有化の推進

電子掲示板の活用等により、業務に関する情報の共有化に努める。

(8) 超過勤務の縮減

業務の性質などを考慮しつつ、始業時間の変更や休憩時間の執務時間への振替など、勤務時間の柔軟化を推進するなどして超過勤務の縮減に努める。

(9) 庁舎内での飲酒の抑制

庁舎内での必要性のない飲酒の抑制に努める。